

# 棚田の力を信じて引き出す

NPO法人フォレスト工房もくり 理事

榊原倫代さん

榊原さんは、短大卒業後、青年海外協力隊としてフィリピンで活動をしたのち結婚を機に飯山市に移住する。2014年にはNPO法人フォレスト工房もくりと出会い、現在は理事を務める。

榊原さんは、荒廃農地を棚田として整備して貸し出す「もくり田んぼプロジェクト」に取り組み、また、自らも米作りに取り組む。

棚田を借りる人の中には、首都圏に住みながら、週末は飯山市で過ごす二拠点生活をしている人もいて、また学生の教育の場としても利用されているそうだ。

都会の喧騒を離れ、日本の原風景が残る飯山市で、豊かな自然に触れながら米づくりに親しみ自分を取り戻す、田んぼセラピーといってもよい時間を、榊原さんは提供している。

今は、地域の人々にも支持され、棚田の整備への協力も得られやすくなってきたという。まさに「棚田の力」を信じて引き出す活動は、共感の輪を広げているのだ。